

鳥獣被害対策アドベンチャー フィールドワーク開催報告

フィールドワーク開催7エリアのうち、
東北 関東 東海
北陸 近畿 中国四国 九州

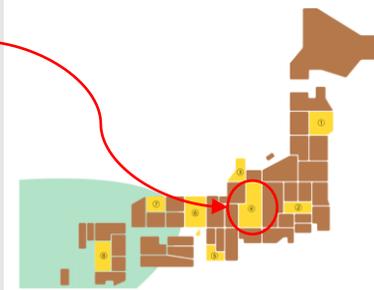
日時 令和6年11月16日～17日(2日間)

場所 岐阜県郡上市

受入先 郡上里山株式会社
<http://inoshika.jp/>



受入先(郡上里山株式会社)QRコード



参加者の声



- 非常にたくさんの有意義な学びがありましたが、くくり罠を仕掛ける上での留意点、解体処理の一連の流れ・技術、それに伴う設備難易度の高さ等々、実例を見る・体験する事で、座学では得られない深い学びがありました。余談ですが、トレイルカメラの設置では、普段から獣道を歩いていることが役に立ち、タヌキが撮影されていたのは嬉しい体験でした。
- 今回のフィールドワークを参加して良かったと思っていました。たくさん貴重な情報を頂きました。鳥獣被害対策を講じると同時に、野生鳥獣の肉を最大限で利用できる体制の構築も重要なことだと理解しました。解体処理施設の見学より、シカ解体の手法やジビエ利用などを実感しました。くくり罠とトレイルカメラを現場で設置して、狩猟等の基本知識を学びました。とても良い学び機会でした。

フィールドワークスケジュール

DAY1 11/16(土)

座学研修

10:30～12:00

郡上市における鳥獣被害状況・対策について、郡上市役所より説明を受けた後、郡上里山株式会社の興膳氏から取組内容をご説明いただきました。



罠・トレイルカメラ解説

13:00～14:30

くくり罠及び箱罠による効果的な捕獲技法、トレイルカメラの概要に関する説明を受けた後、くくり罠設置時の注意事項及びトレイルカメラの操作方法の説明を受けました。



トレイルカメラ・くくり罠

設置体験 14:50～16:00

くくり罠・トレイルカメラの設置体験を行った。野生鳥獣の行動を観察するのに適した場所、設置方法を学びました。



解体処理施設見学

16:10～17:50

解体処理施設を見学し、当日捕獲されたシカの解体作業を見学しながら、関係者から説明を受けました。



DAY2 11/17(日)

電気柵の設置体験

9:00～9:30

電気柵の設置実演を行い、参加者にも設置体験していただく時間となりました。



トレイルカメラの回収 箱罠の操作実演・体験

9:40～10:40

前日に設置したトレイルカメラを回収後、付近の山間に移動し、箱罠の操作方法の解説及び実演、参加者による操作体験を行いました。



トレイルカメラ確認

10:00～11:15

回収したトレイルカメラの映像を確認し、意見交換を行いました。



座学研修・質疑応答

11:30～12:00

鳥獣被害対策の状況に関する説明を受けた後、2日間のプログラム全般における質疑応答・意見交換を行いました。

